

2011年第3四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社
常務執行役員 CFO
板谷 嘉夫

2011. 10. 21

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示
増減、%は億円単位で表示された数字で計算

2011年第3四半期 連結決算概要

- 売上高 2,760億円：タミフル減により横ばい（前同比▲1億円）
 - タミフル：備蓄の一巡により減少
 - タミフルを除く製商品：アクテムラ輸出増により海外は3割増、国内は腎/その他の領域の減少により減少
 - その他の営業収入：一時金等により大幅増
- 営業利益 500億円：前同比+10.9%
 - その他の営業収入の増加と震災による販管費減により増加
- 四半期純利益（累計） 271億円（前同比▲3.6%）
 - 特別損失91億円、うち震災影響74億円

損益の概要 1-9月実績

【億円】	2010年 1-9月	売上 (%)	2011年 1-9月	売上 (%)	増減	%
売上高	2,761		2,760		▲1	▲0.0
製商品売上高	2,733		2,675		▲58	▲2.1
タミフルを除く	2,574		2,612		+38	+1.5
タミフル	158		63		▲95	▲60.1
その他の営業収入	28		85		+57	+203.6
営業利益	451	16.3	500	18.1	+49	+10.9
営業外収益	22		33		+11	+50.0
営業外費用	30		22		▲8	▲26.7
経常利益	443	16.0	511	18.5	+68	+15.3
特別利益	1		0		▲1	▲100.0
特別損失	1		91		+90	91倍
当期(四半期)純利益	281	10.2	271	9.8	▲10	▲3.6

- 製商品売上高(タミフルを除く)
 - 国内 ▲35億円
 - 海外 +73億円
- タミフル* ▲95億円
- その他の営業収入 +57億円
 - GC33導出一時金
 - アクテムラ関連収入の増加 等

- 営業利益 +49億円
- 営業外収支の増加 +19億円

- 特別損失 +90億円
 - 災害による損失 +74億円
 - 資産除去債務影響 +10億円

期中平均レート(円)

	2010年1-9月	2011年1-9月
CHF	84.00	91.62
EUR	117.66	113.25

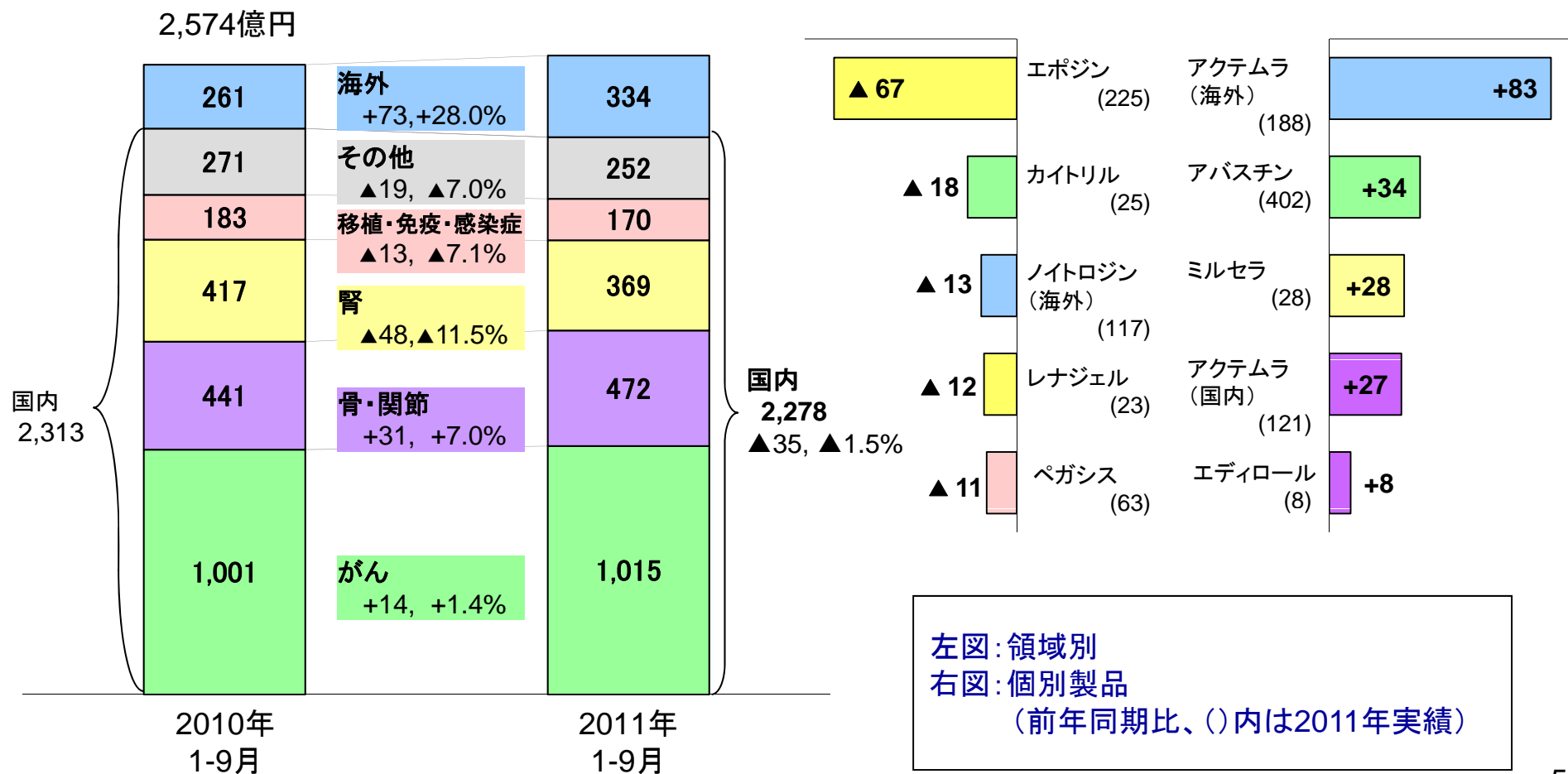
* タミフル 内訳

	2010年1-9月	2011年1-9月	増減
通常	14億円	41億円	+27億円
行政備蓄等	144億円	22億円	▲122億円

製商品売上高（タミフルを除く）の増減内訳 1-9月実績

【億円】

製商品売上高（タミフルを除く）
2,612億円（+38, +1.5%）



タミフルの売上状況

【億円】		決算期売上														シーズン 売上	定点観測数* (百万人)
		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期		2011年12月期			
		1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月		
通常	2004-05	232														246	1.47
	2005-06		119	99												218	0.92
	2006-07				37	50										87	1.01
	2007-08						52	14								66	0.66
	2008-09								57	110						167	1.27
	2009-10										252	14				266	2.02
	2010-11												2	41		43	1.26
	2011-12														26		
通常		351 (+265)		136 (-215)		102 (-34)		71 (-31)		362 (+291)		16 (-346)		67 (+51)			

行政 備蓄等	2005-06		2	65												67	
	2006-07				179	189										368	
	2007-08						96	2								98	
	2008-09								11	144						155	
	2009-10										256	106				362	
	2010-11												59	5		64	
	2011-12														30		
行政備蓄等		2 (+2)		244 (+242)		285 (+41)		13 (-272)		400 (+387)		166 (-234)		35 (-131)			

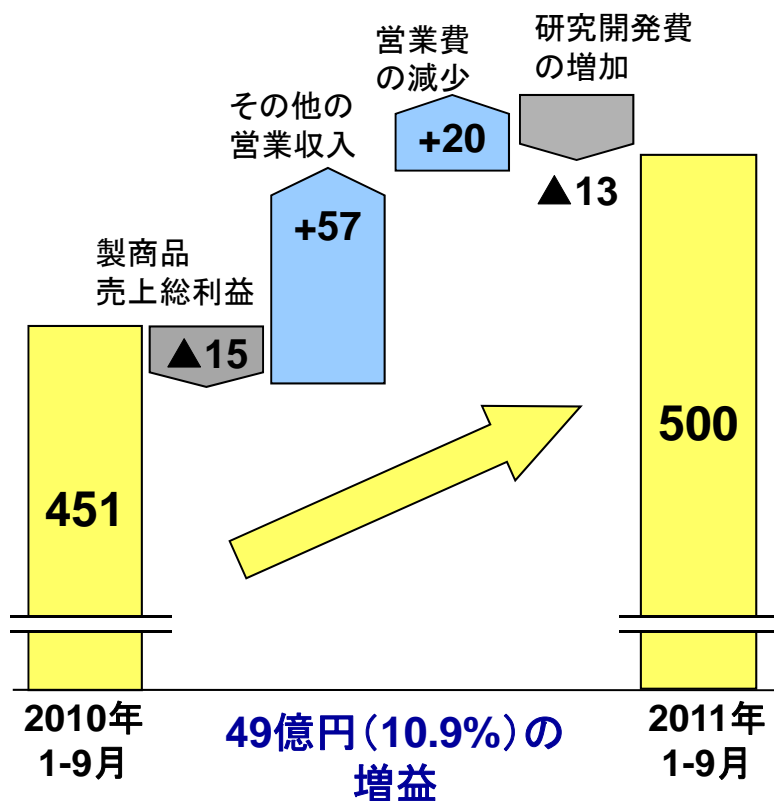
合計		232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	120	61	46	56		
		352 (+266)		380 (+28)		387 (+7)		84 (-303)		762 (+678)		182 (-580)		102 (-80)			

黄色の網掛けは予想値、()内は前期比

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬から4月中旬(2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数

営業利益の増減内訳 1-9月実績

【億円】



【億円】	2010年 1-9月	2011年 1-9月	増減	(%)
売上高	2,761	2,760	▲1	▲0.0
売上原価	1,196	1,154	▲42	▲3.5
売上総利益	1,565	1,607	+42	+2.7
うち 製商品	1,536	1,521	▲15	▲1.0
うち その他の営業収入	28	85	+57	+203.6
営業費	714	694	▲20	▲2.8
研究開発費	399	412	+13	+3.3
営業利益	451	500	+49	+10.9

- 製商品売上総利益の減少 ▲15億円
行政備蓄用タミフルの減少による売上減
- その他の営業収入の増加 +57億円
GC33導出一時金、アクテムラ関連収入 等
- 営業費の減少 +20億円
震災による営業活動への制約、ITプロジェクトの終了
- 研究開発費の増加 ▲13億円
開発テーマの進展(CSG452、T-DM1等の後期開発移行) 7

東日本大震災の影響

■ 災害による損失（特別損失）1-9月実績：74億円

生産休止中の固定費等が増加（1-6月実績：65億円）

- 建物・設備の除却、解体、修繕費用等 42億円
- 棚卸資産損失、生産休止中の固定費等 32億円

通期予想は75億円（建物・設備に関する保険収入は含んでいない）

■ 営業活動への影響

- 新製品発売等各種イベントへの影響
- 出荷調整の長期化に伴う営業活動への制約

■ 出荷調整

10月末までに出荷調整終了、11月1日より通常出荷開始

損益の概要 7-9月（第3四半期）実績

【億円】	2010年 7-9月	売上 (%)	2011年 7-9月	売上 (%)	増減	%
売上高	937		941		+4	+0.4
製商品売上高	926		927		+1	+0.1
タミフルを除く	888		910		+22	+2.5
タミフル	38		17		▲21	▲55.3
その他の営業収入	11		14		+3	+27.3
売上原価	391		408		+17	+4.3
売上総利益	546	58.3	533	56.6	▲13	▲2.4
営業費	237		241		+4	+1.7
研究開発費	133		143		+10	+7.5
営業利益	176	18.8	148	15.7	▲28	▲15.9
営業外収益	16		21		+5	+31.3
営業外費用	11		20		+9	+81.8
経常利益	181	19.3	149	15.8	▲32	▲17.7
特別利益	1		0		▲1	▲100.0
特別損失	0		15		+15	-
当期（四半期）純利益	117	12.5	100	10.6	▲17	▲14.5

●製商品売上高（タミフルを除く）

+22億円

ミルセラ +28億円

アクテムラ（国内） +9億円

エディロール +2億円

アクテムラ（海外） +66億円

エポジン ▲42億円

ハーセプチン ▲14億円

ペガシス ▲7億円

●タミフル* ▲21億円

●その他の営業収入 +3億円

アクテムラ関連収入の増加 等

●営業利益 ▲28億円

* タミフル 内訳

	2010年7-9月	2011年7-9月	増減
通常	0億円	0億円	±0億円
行政備蓄等	38億円	17億円	▲21億円

損益の概要 1-9月実績

【億円】	実績	7月21日修正予想	
	2011年 1-9月	2011年 1-12月	進捗率 (%)
売上高	2,760	3,952	69.8
製商品売上高	2,675	3,845	69.6
タミフルを除く	2,612	3,743	69.8
タミフル	63	102	61.8
その他の営業収入	85	107	79.4
売上原価	1,154	1,672	69.0
売上総利益	1,607	2,280	70.5
営業費	694	980	70.8
研究開発費	412	580	71.0
営業利益	500	720	69.4
経常利益	511	731	69.9
当期(四半期)純利益	271	370	73.2

製商品売上高 進捗率

タミフルを除く製商品 69.8%

国内 67.6%

がん 67.4%

ハーセプチン 76.0%

アバスチン 64.4%

骨・関節 68.4%

エビスタ 75.4%

アクテムラ 60.8%

腎 62.6%

エポジン 73.8%

ミルセラ 22.6%

移植・免疫・感染症 67.7%

ペガシス 61.2%

その他 75.0%

海外 89.8%

アクテムラ 95.4%

ノイトロジン 83.0%

為替変動の影響について

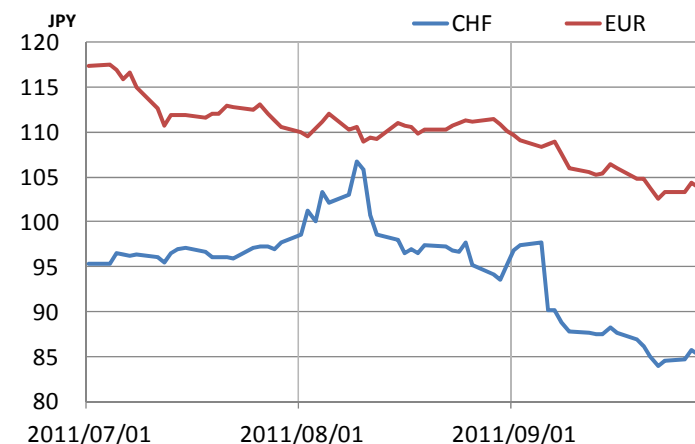
	上期利益影響 (4/21想定レート対比)	7-9月利益影響 (7/21修正想定レート対比)
売上高	+10億円	+1億円
	ノイトロジン(海外) +3億円 アクテムラ(輸出) +5億円 その他の営業収入 +1億円	アクテムラ(輸出) +1億円
原価・販管費	ロシュ品原価 ▲8億円 海外販社販管費等 ▲2億円	ロシュ品原価 ▲2億円 海外販社未実現利益等 +1億円
営業利益	▲1億円	±0億円
営業外収支	為替差損益・為替予約 +1億円	為替差損益・為替予約 +5億円
経常利益	±0億円	+5億円

上期は4月21日修正予想、7-9月は7月21日修正予想への影響。いずれも概算。

実績/想定レート*	1CHF	1EUR
4月21日想定(通期)	85.00円	110.00円
上期実績	90.38円	114.86円
7月21日想定(下期)	95.00円	110.00円
7-9月実績	94.36円	110.00円
参考 1-9月実績	91.62円	113.25円

*実績は期中平均。4月21日想定レートは期初想定レート。

● (ご参考) 7-9月為替レート推移



開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
R&Dポートフォリオ部長
高梨 契典

2011. 10. 21

開発の状況ーがん領域（1）

導入品

アバスチン

乳がん 2011年9月 承認

導入品

GA101（RG7159）

低悪性度非ホジキンリンパ腫

中高悪性度非ホジキンリンパ腫

第3相国際共同治験参加を決定

開発の状況ーがん領域（2）

自社品

WT4869（WT1ペプチドがんワクチン）
固形がん 2011年9月 P1開始

導入品

RG3638（MetMAb）
非小細胞肺がん 2011年8月 P1開始

自社品

エポジン
がん治療に伴う貧血 2011年10月
厚生労働省より不承認通知を受領

開発の状況ー

骨・関節、移植・免疫・感染症、その他領域

自社品

アクテムラ（EU）

sJIA 2011年8月 承認

導入品

ペガシス

B型慢性肝炎 2011年9月 承認

導入品

RG3637 (lebrikizumab)

気管支喘息 2011年8月 P1開始

個別化医療（PHC）にフォーカスした化合物が続々と登場

■ MetMAb: 非小細胞肺癌

- 患者数: 6万人（進行再発）
- コンパニオン診断薬: Met高発現（50%以上）

■ vemurafenib: メラノーマ

- 国内P1試験を2012年に開始予定
- 患者数: 新規年間罹患数1,300－1,400人
- コンパニオン診断薬: BRAF V600E変異（陽性率約30%）

■ lebrikizumab: 気管支喘息

- 患者数: 4百万人
- コンパニオン診断薬: 血清ペリオスチン高値（約50%）

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：相川、河原、宮田、荒木

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、渡辺、時田、喜多村